

執筆・投稿規定

2024年11月26日 制定

1. 本誌に掲載される論文（実践報告や書籍紹介等の含む、以下同じ）は、広く Social-Emotional Learning (SEL)に関する未公開の論文である。
なお、未公開の論文とは、過去に書籍（電子書籍を含む）または国内外の査読付き雑誌（査読付き紀要を含む）に掲載されていない論文、現在投稿中ではない論文を指す。国内外の学会における発表、機関リポジトリ等で電子的に公開した学位論文、および各種研究助成費による研究の報告書に掲載された内容を論文化した投稿は可とする。査読付きでない紀要に掲載された論文の投稿は、新たな内容の追加があれば投稿ができる。
2. 著者は以下の掲載種別から選択して投稿する。「原著論文」、「原著論文（実践論文）」、「原著論文（展望）」、「特集論文」、「短報」、「実践報告」、「書籍紹介」、「海外学会大会報告」。それぞれの内容は編集規定に記す。
3. 著者は、日本語と英語のいずれかで執筆された論文を投稿できる。
4. 投稿論文の第一筆者は本学会の会員でなければならない。ただし、「依頼論文」についてはその限りではない。なお、学会員でなくとも共著者になることはできる。
5. 本誌は人間を対象とした研究誌である。したがって、著者は投稿論文の内容および研究手続き全般において、人権の尊重と福祉に十分配慮し、本文中に倫理的配慮について明記する（倫理的、法的な観点も、審査の対象となる）。
6. 研究業績や実験、データ、理論、仮説、アイデアなどを引用もしくは利用する場合には、そのことを本文で言及し、それらが記載されている論文や資料等の出典を明示する。
出典を明示せずに引用・利用する行為は盗用（剽窃）とみなされる。また著者自身の過去の業績を、新しい業績であるかのように発表する自己剽窃にも、注意が必要である。
7. 日本語論文の原稿は、日本心理学会「執筆・投稿の手びき」に従って作成する。英語論文の原稿は、American Psychological Association が定める APA style に従って作成する。いずれも、投稿時点での最新版に従うこと。
8. 原稿内に利益相反の有無を明示すること（ただし、大会報告、研修会報告を除く）。利益相反の定義については、日本心理学会「利益相反（COI）に関する規則」の投稿時点での最新版における定義に従う。
9. 著者は、本文、図、表、引用文献、英文アブストラクト、キーワードなどを含めて、掲載種別ごとに編集規定に定める上限ページ以内に収まる分量で投稿すること。
10. 論文には、日本語及び英語の要約とキーワードをつける。キーワードは3つ以上5つ以内とする。
11. 英語論文の作成の際および日本語論文につける英語要約作成の際には、熟達した人の執筆によるか、熟達した人の校閲を経ている必要がある。
12. 原稿はオリジナルのものと、著者を特定できる氏名・所属と謝辞等の記述を削除したものをそれぞれ作成し、送信すること。審査は無記名の原稿によって行われる。
13. 投稿論文と内容的に特に関係の深い、同一著者による既公開論文（著書や印刷中のものも含む）がある場合には、投稿の際に添付すること。その際、著者名や所属、掲載誌がわかる記述は削除すること。

14. 投稿は編集委員会宛のメールで受け付ける。編集委員会からの受理のメールをもって、論文の受付とする。
15. 採択後の修正は原則としてできない。
16. 論文投稿後、論文の取り下げをする場合、投稿者は理由を明記した文書により取り下げの意思を編集委員会に申し出ること。
17. 本規定の改正は、理事会の承認を得るものとする。